

## ～介護福祉施設や病院での活躍が期待される～

### 「特定技能介護分野」におけるインド人材説明会のご案内

看護師不足によって病院病棟の廃止など県民生活に影響が出ているケースが顕在化しているなかで、一定の専門性、技能を持つ人材に付与される在留資格「特定技能・介護分野」におけるインド人材の活用が注目されています。

インドでの看護師資格を保持しているインド人材は、その免許が日本では通用しないため、看護師不足に100%対応するものではありませんが、「特定技能」制度を利用して、都会地の病院を中心に身体介護＋看護助手として就労しているケースがあり、島根県内でも介護福祉関係はもとより、病院での活用が期待されています。

説明会では、日本とインド間をつないで最前線で活躍されている NAVIS(本社・東京)の中島耕平社長(島根県出身)をお迎えし、介護・福祉関係者、病院関係者、行政関係者等を対象に、企業情報をはじめベトナムやインドネシアなどに続く新たな介護職外国人材として期待されるインド人材の特徴や日本での就職例などを解説していただきます。

#### 記

タイトル:在留資格「特定技能介護分野」におけるインド人材説明会

主催:山陰インド協会(会長:松尾倫男山陰中央新報社社長)

協力:島根県、中海・宍道湖・大山圏域市長会、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会

講師:中島 耕平氏(NAVIS 社長、本社東京、島根県出身(出雲市生、益田高校卒))

日時:5月13日(火)午後1時30分～同午後3時

(個別相談希望の場合は、別途対応致します)

会場:松江商工会館1階教養文化センター(松江商工会議所1階)

松江市母衣町55-4 電話 0852(23)1616

定員:50人

参加費:無料

申込:参加記入の上、山陰インド協会までFAXで申し込みください。

締切:4月22日(火曜日)なお、締切日以前でも定員に達しましたら締め切ります。

問い合わせ先:山陰インド協会 事務局長 岡並 弘 0852(32)3481

メモ:インド・ベンガルールにある送り出し機関「NAVIS HR」と受入れ機能を持つ「NAVIS」でグループを構成。技能実習や特定技能の介護分野のほか ANA 空港グラハンで実績(来日通算262人)。特定技能介護分野で来日しているインド人は全体で194人(23年度末)。その63%にあたる120人がNAVIS経由で、同部門ではインド国内業界シェアトップ。就労先は介護福祉施設が20施設、病院が10施設。勤務地は東京、千葉、札幌、神戸、福井、広島など。中島社長によると、病院勤務の場合は、51%以上は身体介護(老人とは限らず、手術後の身体介護等含む)、それ以外の49%で看護助手(手術室の事前準備、術後の清掃等、手術患者を病室から手術室までは運ぶ、バイタルチェック(検温、血圧等))等の業務を行うという。

